



# 海士町ホテル魅力化プロジェクト ・ジオ拠点施設

海士町

株式会社 マウントフジアーキテックススタジオ一級建築士事務所

前田建設工業・鴻池組 特別共同企業体

島根県隠岐郡海士町福井1375-1

竣工済につき  
簡略版としています

竣工済

## 提案の 概要



### A. プロジェクト全体の概要

- 島根県隠岐諸島海士町に唯一あるホテル「マリポートホテル海士」を、隠岐を代表するホテルへと生まれ変わらせる計画。ホテルは町が所有し、運営は第三セクターの(株)海士が担っている。プロジェクトは大きく分けると、①旧国民宿舎部分(別館)の建て替えと②本館の改修、から構成され、複合機能として、①に隠岐ジオ・パーク拠点施設を包含する予定である。2021年4月のリニューアルオープンを目指している。

### B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 既存ホテル(地下1階、地上4階、延床面積約2,000m<sup>2</sup>)に、延床面積約1,950m<sup>2</sup>の増築を行うプロジェクトである。新築部分を別棟として扱うことにより、準耐火構造(60分耐火)の、地上2層約1,000m<sup>2</sup>をCLT構造で計画している。

### C. 提案のアピールポイント

- 燃えしろ設計を利用し、可能な限り壁面をCLTあらわし仕上げとすることを計画。これまでの宿泊施設の木質化は、コテージ等の小規模な建物に限られていたが、本建築の実現により、中・大規模ホテルへの木質化の普及・波及効果が期待できる。



海からの外観

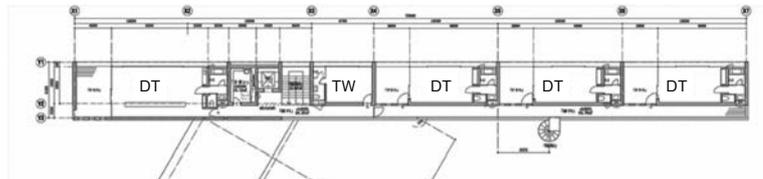
## 評価の ポイント



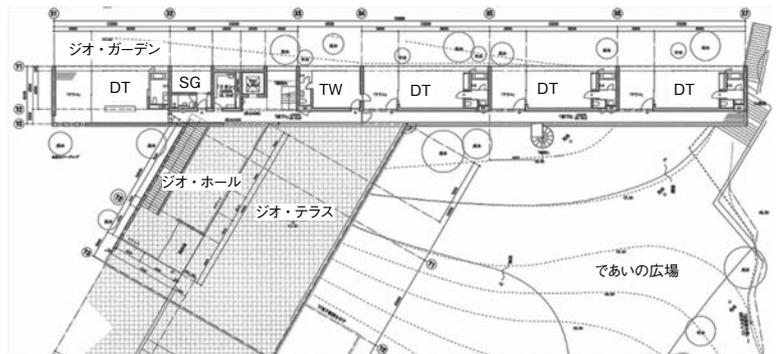
島根県隠岐諸島海士町の唯一のホテル「マリポートホテル海士」を、隠岐を代表するホテルへと生まれ変わらせるために、既存部に、延床面積約1,950m<sup>2</sup>の増築を行うプロジェクト。新築部分を別棟配置し、地上2層約1,000m<sup>2</sup>を準耐火構造(60分耐火)のCLT構造で計画している。燃えしろ設計で、可能な限り壁面をCLTあらわし仕上げとした計画である。CLTの施工は島外の施工事業者、内装等の工事は島内の事業者による施工計画であり、島嶼地域でのCLTパネル工法の施工と地域貢献の両立を図っている。以上のように、中・大規模ホテルの木造化に向けたCLTパネル工法の島嶼地域での生産システム面での先導性が認められ、普及・波及効果が期待される。

● 構造計画

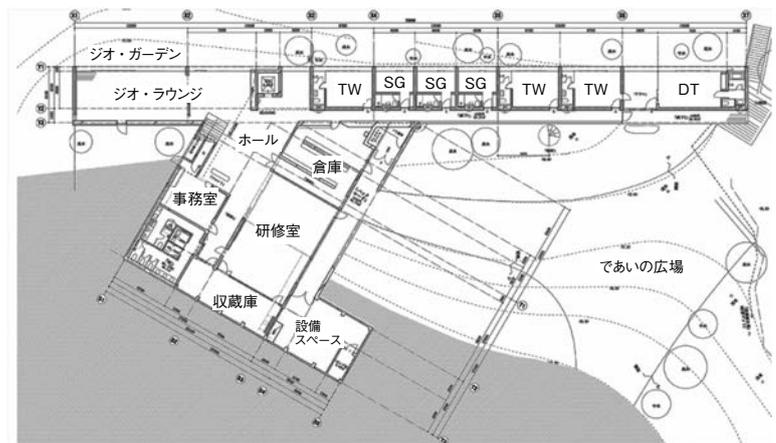
- ・地上階および地下階の一部において、CLTパネル工法を選択している。
- ・客室部の耐力壁は外壁や客室境の壁を利用し、各階位置を揃えて地震や風圧力に有効に抵抗する。
- ・客室部の平面的な捩じれについては短辺方向に配置した耐力壁の捩じり抵抗によって処理する計画としている。
- ・木造部とRC造部は構造的に一体として合理的に地震力に抵抗する計画としている。
- ・1時間準耐火構造により、CLT壁と一部修正材の梁については燃えしる設計を行うことにより、火災時における建物の安全性を確保する。



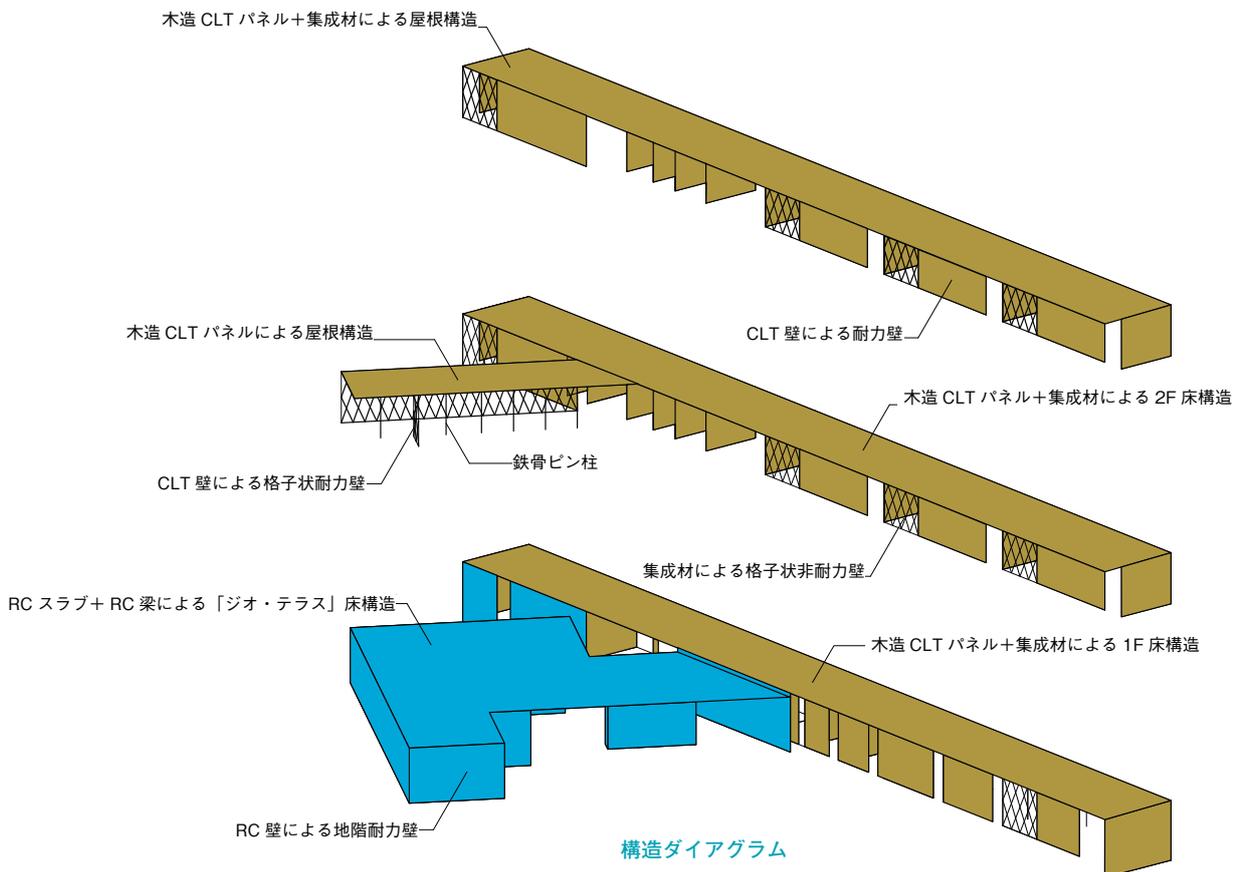
2階平面図



1階平面図



地下1階平面図



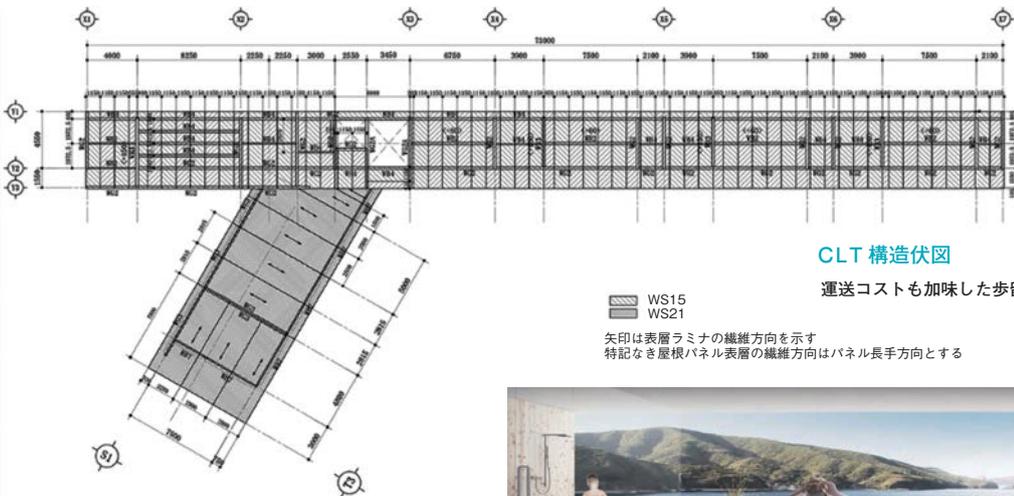
構造ダイアグラム

## 先端性・先進性

- 本設計与件の「離島という地理条件、現地労働力の不足、短工期（ホテル休業期間の制約）」から、本土の工場においてほぼ加工を済ませることができるCLTパネル工法を採用している。具体的なメリットとして、以下のような点が挙げられる。
  - ・「デスクトップから現場までシームレスに監理」  
CLTの加工は、CADデータに基づき、工場内でのデジタル連動機材により高精度に加工されるため、＜本州～離島＞の遠隔での確実なコントロールが可能。
  - ・「CLTの利点を活かす」  
木版の特性により断熱・防音・仕上げ工事までを兼ね最小限工程とすることができるため、現地工種や施工手間及び工期を低減できる。

## 波及性・普及性

- CLT等の部材の接合は、ビスやボルトといった入手が容易な接合具と規格流通金物を用いた単純なプレカットによるシンプルな架構計画。  
燃えしろ設計を利用することにより、居室の内壁面においてはCLT壁をあらわしとし、CLTの持つ「無垢な素材」に直に触れることのできる客室計画としている。



CLT 構造伏図

運送コストも加味した歩まりのよいサイズを選択している

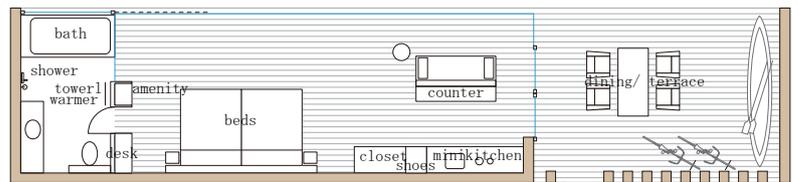
WS15  
WS21

矢印は表層ラミナの繊維方向を示す  
特記なき屋根パネル表層の繊維方向はパネル長手方向とする

## CLT連続壁体により可能となる“広い間口”という根本的贅沢

手つかずの島々とカルデラ海という隠岐ジオ・パークを見晴らす景観を最大限味わうために、通常のホテルの「間口：狭く／奥行き：深く」を「間口：広く／奥行き：浅く」へと反転している。他では得難い宿泊経験をゲストに提供する。

強度を持ったCLTの連続壁体により獲得される平面計画の自由度により実現し、燃えしろ設計により可能となるCLTあらわしの仕上、木質の内装や家具が、その質を保証する。



広い間口の客室

## プロジェクト データ

提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は  
扉頁参照

建物名称：Entô  
 主要用途：宿泊施設  
 主要構造：木造化（軸組構法 枠組壁工法 丸太組構法 その他（CLTパネル構法）  
 防火地域等の区分：防火地域 準防火地域 法22条区域 その他の地域  
 耐火建築物等の要件：耐火建築物 準耐火建築物（60分耐火）  
準耐火建築物（45分耐火）  
その他の建築物

敷地面積：5,666.21㎡  
 建築面積：781.32㎡  
 延べ面積：1,639.67㎡  
 軒 高：13.24m  
 最高の高さ：13.39m  
 階 数：地上2階、地下1階

構造用木材使用量：633.419㎡  
 うち CLT、LVL 等の使用量：436.667㎡

事業期間：平成30年8月～令和3年5月  
 補助対象事業費：1,266,803千円  
 補助限度額：194,200千円



採択事例 **67** 海士町ホテル魅力化プロジェクト・ジオ拠点施設

竣工報告



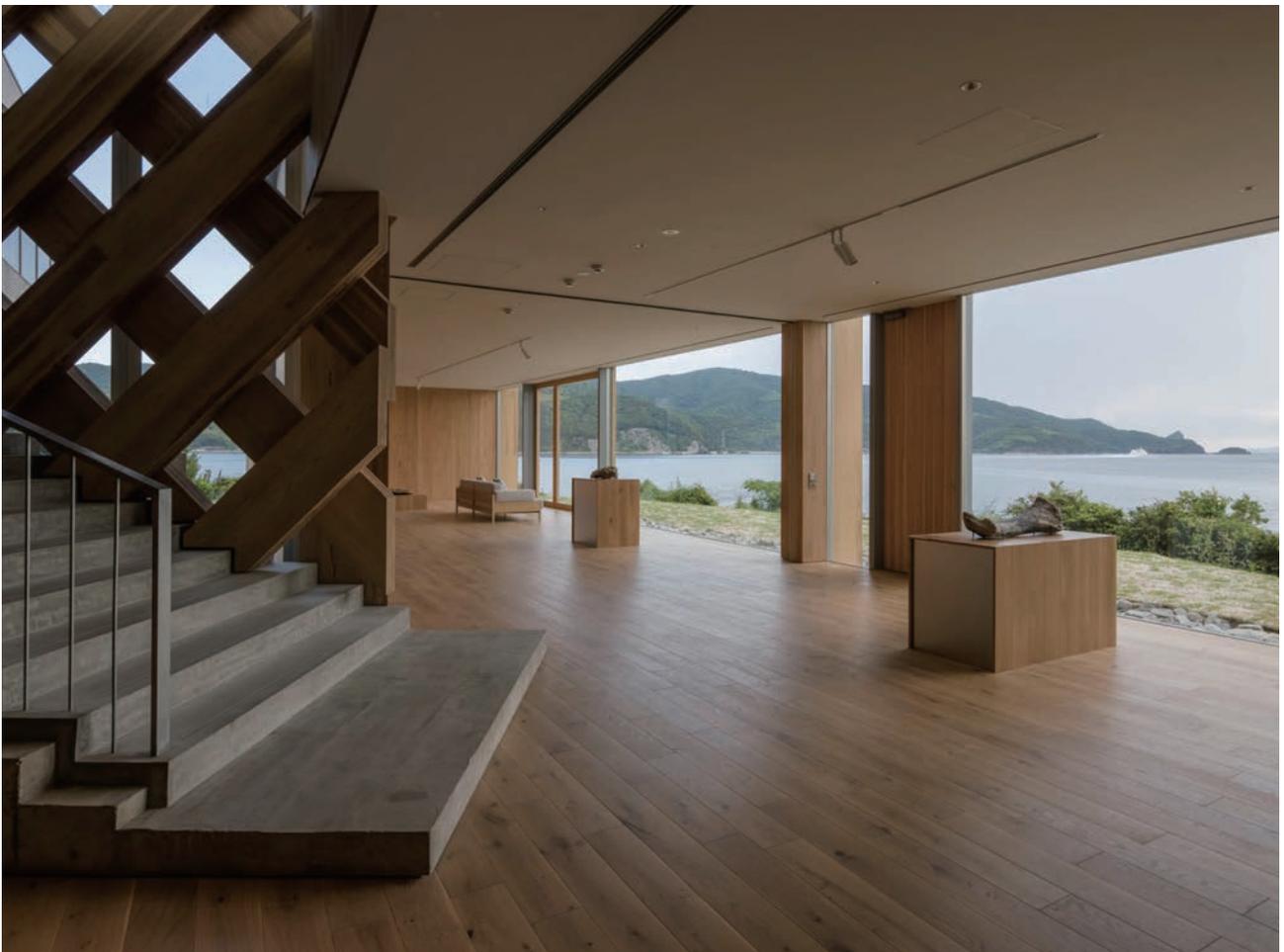
隠岐の海に向かって建つ外観（左に既存棟、右にフェリーターミナル）



大きな開口の客室からの海の展望



ジオテラスからエントランス、ジオホールを見る



地下1階ジオラウンジ 階段を上がるとジオホールへ